クライムハンター　怒りの銃弾（1989）

メディア オリジナルビデオ
ジャンル アクション
製作国 日本
色彩 Color
時間 60分
TV放映 1989/03/10 ～

【解説】
　本格的なガン・アクションを目指してつくられた、東映Ｖシネマ第一作。麻薬と犯罪の蠢く暴力都市、リトル・トーキョー。犯罪捜査官ジョウは、凶悪犯ブルースを護送中、何者かに襲われて重傷を負う。相棒のアヒルを殺され、ブルースを取り逃がしてしまったジョウ。怒りに燃えるジョウはバッチを捨て、危険な単独捜査に乗り出していくのだった……。
　主人公ジョウを好演したのは自身もガンマニアである世良公則。また凶悪犯ブルースを又野誠治がそのワイルドな魅力を活かして熱演している。沖縄にてロケされたリトル・トーキョーの薄汚い街並みも、エキゾチックで無国籍な画面を創り上げ、本作を邦画らしからぬ作品に仕上げている。監督・脚本を務めるのは、ＴＶドラマ『あぶない刑事』『ベイシティ刑事』などの脚本を手掛けていた大川俊道。本作が監督初挑戦となる。
　アクション主体の本作において、やはり見所はガン・アクションと言えるだろう。“マンビルＸＭ１８グレネードランチャー”や“Ｍ６０機関銃”などの派手な銃器類が、それまでの邦画とは一味違う迫力のある画面を観せてくれる。原口智生が担当した人体への弾着効果も見事。なかでも、眼鏡のレンズに被弾するシーンは見逃せないポイントである。プロップガンの作動にもスタッフのこだわりと情熱が感じられ、リアルな排莢シーンを実現、画面を引き締めている。とはいえ、その排莢シーンを繰り返し、スローで大写しにする演出は少しばかり？マークの感がある。いかに出来のいいプロップガンとはいえ、いささか興ざめで、アクションの流れを悪くしているようにも感じられるのだが……。シリーズ全体を通して言える事だが、やはり本作はガンマニアが創ったガンマニア向けの映画という事であろうか。その他、ヒロイン・リリーを演じる田中美奈子の網タイツ姿も要チェックである。

【クレジット】

監督	大川俊道	
企画	吉田達	
脚本	大川俊道	
撮影	間宮庸介	
特殊効果	ＢＩＧＳＨＯＴ	
音楽	京田誠一	
特殊技術	原口智生	
出演	世良公則	ジョウ
	又野誠治	ブルース
	田中美奈子	リリー
	原田芳雄	
	竹内力	
	片桐竜次	
	ハント敬士　Hunt Takashi	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.